

令和6年度事業報告書

社会福祉法人 清光会

法 人 本 部

令和6年度社会福祉法人清光会法人本部事業報告

1. 事業の概要等（総括）

今年度も新型コロナウイルス感染防止に努めながら、日中活動・作業や行事を実施し、利用者さんが充実した生活が送れるように取り組んできたが、紀南ひかり園において、7月14日に入所者1名が発症し、その後感染が拡大し、入所者39名中37名、グループホーム入居者3名、職員7名が感染した。8月1日に終息し、8月5日から通常の活動を再開した。

4月1日から策定が義務化となった非常災害及び感染症の業務継続計画（BCP）については、内容を職員に周知し、11月と1月に発生した場合を想定した対応訓練（シミュレーション）を行い、改善事項について協議し、見直しを行った。

施設・事業所の移転については、補助金の状況が不確実で、建築費も高騰しており、法人の財源及び経営状況を考えると土地を購入して建物を新築することは難しくなったため、移転は行わず、既存の建物の増築・改修、設備整備、地盤沈下改修工事等を行っていくことになり、中・長期計画の変更を行った。

2. 役員等

異動はなく、令和7年3月31日現在、役員・評議員は下記のとおりであった。

理 事	6名（定数）
監 事	2名（定数）
評議員	7名（定数）
尚、補欠評議員1名が選任されている。	

3. 理事会

令和6年度の理事会は、以下のとおり実施された。

回数	開催日	主 な 議 案
1	令和6年 5月28日	第1号 令和5年度事業報告の承認について 第2号 令和5年度計算関係書類及び財産目録の承認について 第3号 給与規程の一部改正（案）について 第4号 令和6年度資金収支第1次補正予算（案）について 第5号 定時評議員会の招集について 第6号 パートタイマー等の就業規則の一部改正（案）について （報告事項） （1）令和5年度利益相反取引の結果報告について （2）職員の退職について （3）新規採用職員について
2	令和6年10月 7日	第1号 令和6年度資金収支第2次補正予算（案）について （報告事項） 理事長の職務の執行状況報告について
3	令和7年 3月17日	第1号 令和6年度資金収支第3次補正予算（案）について 第2号 中・長期計画の変更（案）について 第3号 令和7年度利益相反取引について 第4号 給与規程の一部改正（案）について 第5号 パートタイマー等就業規則の一部改正（案）について 第6号 令和7年度事業計画（案）について 第7号 令和7年度資金収支予算（案）について 第8号 育児・介護休業等に関する規則の一部改正（案）について 第9号 運営規程の一部改正（案）について 第10号 苦情解決事業に係る第三者委員の選任について

		第11号 評議員会の招集について (報告事項) 理事長の職務の執行状況報告について
--	--	---

4. 評議員会

令和6年度の定時評議員会及び評議員会は、以下のとおり実施された。

回数	開催日	主 な 議 案
定時	令和6年 6月17日	第1号 令和5年度計算書類及び財産目録の承認について 第2号 令和6年度資金収支第1次補正予算(案)について (報告事項) (1) 令和5年度事業報告について (2) 職員の退職について (3) 新規職員採用について
2	令和6年10月 7日	第1号 令和6年度資金収支第2次補正予算(案)について (報告事項) (1) 職員の退職について (2) 新型コロナウイルス感染症の発生について (3) 労働災害について
3	令和7年 3月17日	第1号 令和6年度資金収支第3次補正予算(案)について 第2号 令和7年度事業計画(案)について 第3号 令和7年度資金収支予算(案)について (報告事項) (1) 中・長期計画の変更について (2) 職員の退職について (3) 新規職員採用について (4) インフルエンザの発生について (5) 地域連携推進会議の設置について

5. 監事監査

監事による監査は、以下の通り実施された。

実 施 日	内 容
令和6年 5月10日	令和5年度における理事の業務執行の状況及び法人の財産の状況他について、監事2名により監査を実施した。特に指摘事項はなかった。
令和6年11月18日	令和6年度途中における法人運営・会計経理について、監事2名により監査を実施した。特に指摘事項はなかった。

6. 税理士による会計及び税務の指導

税理士法人あおぞらの税理士から、月1回(訪問は4月、8月、12月の4ヶ月に1回)会計帳簿の確認、及び指導、助言を受けて、正確かつ適正な計算書類を作成し、5月には、訪問により計算関係書類及び財産目録の確認をしていただいた。また消費税の申告を行っていただいた。

7. 社会福祉事業の実施

多様な福祉サービスがその利用者の意向を尊重して総合的に提供されるよう創意工夫することにより、利用者が、個人の尊厳を保持しつつ、自立した生活を地域社会において営むことができるよう支援することを目的として、下記の社会福祉事業を行った。

(1) 第一種社会福祉事業

障害者支援施設紀南ひかり園の経営

(2) 第二種社会福祉事業

(イ) 障害福祉サービス事業(生活介護・就労継続支援B型 グリーンプラザ)の経営

- (ロ) 障害福祉サービス事業（生活介護 紀南ひかり園）の経営
- (ハ) 障害福祉サービス事業（短期入所 紀南ひかり園）の経営
- (ニ) 障害福祉サービス事業（共同生活援助 紀南ひかり園）の経営
- (ホ) 障害児通所支援事業（放課後等デイサービス事業 「ひかり」）の経営
- (ヘ) 特定相談支援事業（相談支援センターらいつ）の経営
- (ト) 障害児相談支援事業（相談支援センターらいつ）の経営

(3) その他

日中一時支援事業（紀南ひかり園・グリーンプラザ）の受託
熊野市生活困窮者就労準備支援事業の受託

8. 会議の運営

以下のとおり実施した。

(1) ビジョン策定委員会

回数	開催日	内 容
1	令和6年 7月11日	(1) 全国経営協 WEB 診断による財務分析 (2) 社会福祉充実残額の意義及び適正利益について (3) 適正利益について
2	令和6年12月12日	(1) 中・長期計画の進捗状況及び見直し（案）について

(2) 人事考課検討委員会

回数	開催日	内 容
1	令和6年12月12日 (評価実施前)	(1) 人事考課実施に伴う昨年度の反省事項の確認 (2) 令和6年度人事考課の実施内容の再確認 (3) 評価の実施方法の確認
2	令和7年 3月13日 (評価実施後)	(1) 反省点 (2) 令和7年度の人事考課について

(3) 建物整備検討委員会

回数	開催日	内 容
1	令和6年 5月28日	(1) 移転の為の財源と課題 ・現時点での積立金について ・年度別（5年間）のサービス活動収益と人件費、冬期活動増減差額（利益）の確認 ・移転の課題 (2) 移転していくのか、既存の建物を改装・改修・増築していくのか (3) 移転しない場合 ・法人としての検討事項 ・紀南ひかり園の検討事項 ・グリーンプラザの検討事項 (4) 令和5年度第5回建物整備検討委員会での意見の再確認 (5) 社会福祉充実計画について
2	令和6年 8月 6日	*内部委員（園長、所長、園長補佐、事務局長）で行った。 (1) 居室棟耐震補強工事について (2) 建物等増築工事について (3) 今後の進め方について
3	令和6年10月 7日	*内部委員（園長、所長、園長補佐、事務局長）で行った。 (1) 5月の理事会後に行った第1回建物整備検討委員会での意見の再確認

		(2) 第1回建物整備検討委員会後に内部委員で再度検討した結果の再確認 (3) 居室棟耐震補強工事について (4) 建物増築等工事について (5) 今後の進め方について
4	令和6年11月19日	*内部委員(理事長、園長、所長、園長補佐、事務局長)で行った。 (1) 既存の建物・設備整備及び地盤沈下改修について (2) 市町への説明について

9. 情報の公開

下記のとおり情報の公開を行った。

(1) 公表

(イ) 貸借対照表、収支計算書、附属明細書、財産目録、監事監査報告書、事業報告書、定款、役員等報酬規程、現況報告書、社会福祉充実計画、事業計画書

(ロ) 障害福祉サービスの基本情報・運営情報

(ハ) 放課後等デイサービス自己評価結果・保護者等による事業所評価結果・事業所における自己評価総括表、放課後等デイサービス支援プログラム

(ニ) 身体拘束等の適正化のための指針

(2) 備置き・閲覧

事業計画書、事業報告書、財産目録、貸借対照表、収支計算書、附属明細書、監事監査報告書、現況報告書、定款、役員等報酬規程

(3) 広報誌「ふれ愛」の発行(年2回)

10. 観音様の法要

令和6年10月23日(水) 午前10時から大義院住職北孝三ご導師により法要を執り行っていた。法要執行に当たり、清光会後援会から紅白饅頭のご寄付を頂いた。

尚、参列者は園長、所長、園長補佐、事務局長、事務長、利用者自治会会長、保護者会会長・副会長の9名とした。

11. 外部研修

関係機関から配信された下記の内容の動画の視聴を行った。

(1) 令和6年度社会福祉法人運営研修会(三重県福祉監査課)

(2) 令和6年度障害福祉サービス事業者等集団指導(三重県福祉監査課)

(3) 令和6年度社会福祉法人制度改革事務担当者フォローアップセミナー(全国社会福祉法人経営者協議会)

紀南ひかり園

令和6年度 障害者支援施設 紀南ひかり園事業報告

新型コロナウイルス感染症等感染対策においては、引き続き感染防止対策を実施しながら、安心・安全な生活の確保に努めた。また、4月から策定が義務化となった非常災害及び感染症の業務継続計画（BCP）については、自然災害、感染症のまん延等不測の事態に備え、内容の周知、研修・訓練、また見直しを行いながら取り組んだ。

今年度重点目標を定め実施した取り組みについては以下のとおりである。

1. 安心・安全な生活の確保

新型コロナウイルス感染症の感染防止に努め、「持ち込まない」「広げない」対策を図ったが、R6年7/14～8/1の間に、入所者37名、職員7名の計44名が集団感染となった。またR7年2/3～6の間に、2名の入所者がインフルエンザを発症したが、早めに隔離対応を実施した上で一部の利用者に予防投与を行ったことで、感染を広げずに終えることが出来た。

2. 業務継続計画（BCP）の理解

自然災害及び感染症の発生時、可能な限り事業継続及び中断した事業の早期再開を図る為、事業継続計画（BCP）の内容を職員に周知した上で、R6年11月自然災害、R7年1月感染症の研修・総合訓練を実施し理解に努めた。

その他利用者が安心安全且つ豊かな生活が送れるように、事業計画に沿って以下の事業を実施した。

1. 利用者の異動

		施設入所支援事業	生活介護事業
定員		40	60
年度当初在籍者数		39 (男性22、女性17)	54 (男性27、女性27)
年度内異動		(内訳)	(内訳)
契約	R6年 4月		1 (男性)
契約解除	11月	1 (女性)	2 (女性)
年度末在籍者数		38 (男性22、女性16)	53 (男性28、女性25)

2. 職員の異動

職種	年度当初職員数	年度中の異動			年度末職員数
管理者 (サービス管理責任者兼務)	1				1
医師（嘱託医）	2				2
看護師	1				1
生活支援員	32 (常勤19、非常勤13、 内兼務6)	採用	R6年 5月 6月	1 (常勤) 1 (非常勤)	30 (常勤17、非常勤13、 内兼務6)
		退職	R6年 5月 7月	1 (非常勤) 1 (常勤)	
			12月	1 (常勤)	
			R7年 3月	1 (常勤)	
栄養士	1				1
事務員	4 (常勤3、非常勤1)				4 (常勤3、非常勤1)

用務員	4 (非常勤 4、内兼務 1)	採用	R6年 4月	1 (非常勤)	4 (非常勤 4、内兼務 1)
		退職	R7年 3月	1 (非常勤)	
合計 (実職員数)	43				41

3. 日課

生活及び活動の目安として、(別紙1)「日課表」のとおり日課を定め実施し、利用者の生活の充実を図った。

4. 個別支援計画

利用者及び家族の意向、ニーズの把握(アセスメント)を行った上で、利用者個人ごとの受給者証の更新月に合わせ、年2回、個別支援計画策定会議、モニタリング・計画書作成を実施し、利用者(保護者)に説明し同意を得た。尚、個別支援計画策定会議には、意思決定支援推進の観点から、原則利用者也参加し意見を述べてもらった。

5. 生活支援(入所支援)

重度・高齢化が進む中、「ゆとり」のある日課のもと、それぞれのライフサイクルを尊重し、個々の「個別支援計画」に基づいて、一人ひとりが豊かで楽しく、また意欲的で充実した生活を送れるよう支援を行った。

6. 活動支援(生活介護)

当事業所は「生活介護事業所」であることから、利用者が可能な限り自立した日常生活又は社会生活を営むことが出来るよう、必要な情報を提供し、その人なりの人生を側面から支えていくことを念頭に、利用者等のニーズに沿った「個別支援計画」を策定し、これに基づき支援を行った。また、入浴、排泄及び食事の支援、創作的活動または生産的活動の機会、及び日々の生活の楽しみを提供し、買物支援という観点から活動グループ毎で週1回ニーズに沿った個別の買物等の支援を行った。

(1) 日中活動支援

本年度は、利用者一人ひとりの適性を考慮し、活動グループごとに次の内容を実施した。

① ゆとりグループ

乙女座⇒フェンス横の畑等で、サツマイモ、玉ねぎ、豆等の栽培を行い、収穫を楽しんで頂いた。園内の花壇では、季節ごとの花を育て、4～5月には熊野市花いっぱい運動(オープンガーデン熊野)に参加した。その他、山崎運動公園への散歩や、リサイクル活動としてアルミ缶のプルタブ集めに取組んだ。午後からはサンシャインホールにて、レクリエーションとしてカラオケやゲーム等を実施し楽しんで頂いた。

カシオペア⇒午前中は季節や気候に合わせて、山崎運動公園、園内の散歩を行った後、作業場にて、手芸品等の制作やビーズ通し等の各自に合った軽作業を行った。

午後からは銀河にて、レクリエーションとして、カラオケやゲーム等を実施し楽しんで頂いた。またゆったりと落ち着いた環境の中で、一般浴場において日中入浴を行った。その他、昼食後の時間帯に喫茶「ベルスター」の運営を行った。

② すこやかグループ

午前中は、イキイキ体操や口腔体操、散歩を行った後、軽作業、季節の壁画作り、個々のリハビリ指導に沿ったリハビリ活動等に取り組んだ。

午後からは銀河にて、レクリエーションとして、カラオケやゲーム等を実施し楽しんで頂いた。またゆったりと落ち着いた環境の中で、一般浴場とコメントにおいて日中入浴を行った。

③ なごみグループ

午前中は、軽いストレッチや口腔体操、体力面に考慮しながら散歩を行った後、掃除のできる利用者は館内の掃除(窓拭き、洗面所掃除、ゴミ集め等)をして頂いた。また季節に応じた創作や折り紙、塗り絵等を本人の出来る範囲で行って頂くとともに、個々のリハビリ指導に沿ったりリハビリ活動等に取り組んだ。

午後からは銀河にて、レクリエーションとして、カラオケやゲーム等を実施し楽しんで頂いた。またゆったりと落ち着いた環境の中で、一般浴場とコメットにおいて日中入浴を行った。

(2) 余暇活動支援

① レクリエーション

楽しみのある活動を提供することで、明日への活力につながることを目的として実施した。

実施月	場 所	内 容
R6年 5月	サンシャインホール、銀河、児童ディスプレイルーム	ゲーム
10月	銀河前洗濯干し場付近	焼き芋大会
R7年 2月	サンシャインホール、銀河、児童ディスプレイルーム	音楽活動

② クラブ活動

利用者の趣味を生かしたクラブ活動を次の通り実施した。

実施月	音楽クラブ	茶道クラブ	ドライブクラブ	料理クラブ
R6年 6月	ホールにてカラオケ等	作法を習う	紀宝町方面へドライブ	蒸しパン作り
8月	延期した行事(ピアガーデン/台風接近に伴い中止)が入った為、クラブ活動なし			
10月	ホールにてカラオケ等	作法を習う	紀宝町方面へドライブ	チョコレートフォンデュ作り
R7年 1月	ホールにてカラオケ等	作法を習う	紀宝町方面へドライブ	揚げないアメリカンドッグ作り

③ 行事等

季節に応じて、下表の年間行事を実施し、日常生活で得られない体験を通して潤いのある生活を送って頂いた。

年 月	行事名	内 容
R6年 4月	花見	当日は雨天であった為、新型コロナウイルス感染対策を取りながら館内にて実施。季節の変化の美しさを味わいながら、銀河・銀河前にて食事を摂り、その後、ホールと銀河に分かれてカラオケを行い楽しいひと時を過ごした。
7月	ピアガーデン	7/24 開催予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大の為、延期。8/28 に開催予定となったが、台風の接近に伴い、中止となる。9/25 ピアガーデン用に購入した花火を行事として実施。事務所前ロータリーで手持ち花火を行い、噴上げ花火を觀賞して楽しいひと時を過ごした。
11月	秋まつり	新型コロナウイルスの感染対策を行いながら、今年度もひかり園単独において利用者・職員による秋まつりを開催し、太平洋広場にて音楽イベントやストラックアウト、魚釣り、ポッチャ、ピンポン玉飛ばし等のゲームの他、模擬店コーナーでは、焼きそば、揚げたこ、カラフルゼリー、ドーナツ、ジュースなどを販売し楽しい一時を過ごした。

12月	クリスマス会	新型コロナウイルスの感染対策を行いながら、利用者・職員の参加により、グループ毎で、ホール、銀河、児童ディスプレイルームに分かれてクリスマス会を開催し、各グループで会場の飾りつけを行った後、イントロクイズやプレゼント釣り等を行い、昼食にはクリスマスメニューの食事を摂った他、サンタからの贈り物等を頂き楽しい一時を過ごした。
-----	--------	--

※その他、「余暇の日」として、9月・3月、グループ毎に、買物等の後にフードコート等広い場所にて外食を行い楽しんで頂いた。

【地域のイベント等への参加状況】

実施月	地域イベント名	内 容
R6年12月	イルミネーション見学	自治会を通してイルミネーション見学に出掛けたいとの希望があり、希望者18名が、田代公園のイルミネーション見学に出掛けた。

※R7年1月、外出支援時にグループ毎で初詣を実施。

(3) 自立支援活動

日曜日、祝日などの休日には、利用者が外出し社会性を身につけるために必要な助言を行った。外出に際しては「外出届」を提出していただき、「在園証明書」を持参のうえ出かけることとし、出発時および帰園時には、必要に応じて適切なアドバイスを行った。また、外出先については各担当者が状況を把握し、必要に応じて外出先と連携を取りながら支援を行った。

なお、外食についてはインフルエンザや新型コロナウイルスなど感染症予防のため控えていただき、感染症流行期には地域の人出が少ない場所を指定して外出を支援した。

7. 地域生活移行支援

地域移行の希望がある利用者については、地域生活移行に向けて支援計画を作成し、グループホーム「ジュピター」の日帰り体験(入浴・夕食)を予定していたが、今年度は利用者からの希望がなく実施には至らなかった。

8. 日中一時支援事業

在宅障害児(者)を日常的に介護している保護者(家族)の事情(一時的な休息や仕事の都合等)や、障害児(者)本人の活動や日常生活訓練等の場として、日中受入れを行い、必要に応じた援助を行った。

実施に当たっては、市町との事業契約を結び、市町が必要と認めた者を対象とし実施した。

定員 9名以下(1日あたりの実利用定員)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
人数	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	2
日数	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	2

延べ日数 5日

9. 自治会

施設の主人公は利用者の方々である。利用者の選挙により選出された自治会役員(会長、副会長、書記)と、各グループの班長で構成する利用者自治会会議を原則的に第2水曜日の午後に行い、日常生活面や食事・節約についての意見、自主的な取り組みを側面から支援するため、次の通り実施した。

【自治会活動内容】

	内 容
R6年 4月	新役員・班長の今年度の抱負、誕生日・希望メニュー、月目標の反省、月目標、その他(各グループからの意見)
5月	誕生日・希望メニュー、月目標の反省、月目標、ベルスター夏メニューの希望、外注メニューの希望、その他(各グループからの意見)
6月	誕生日・希望メニュー、月目標の反省、山崎運動公園清掃活動 その他(各グループからの意見)、外注の昼食提供
7月	誕生日・希望メニュー、月目標の反省、月目標、その他(各グループからの意見)
8月	誕生日・希望メニュー、月目標の反省、その他(各グループからの意見) 外注のおやつ提供
9月	誕生日・希望メニュー、月目標の反省、月目標、ベルスター冬メニューの希望 その他(各グループからの意見)
10月	誕生日・希望メニュー、月目標の反省、その他(各グループからの意見)
11月	誕生日・希望メニュー、月目標の反省、月目標、その他(各グループからの意見) 友輪横歩道清掃活動
12月	誕生日・希望メニュー、月目標の反省、その他(各グループからの意見)
R7年 1月	誕生日・希望メニュー、月目標の反省、月目標、その他(各グループからの意見) 外注の食事提供
2月	誕生日・希望メニュー、月目標の反省、その他(各グループからの意見) 外注のおやつ提供
3月	次年度自治会役員立候補者、次年度体操の希望、花見弁当希望メニュー、 その他(各グループからの意見)、年間新聞「ひかりの声」発送、誕生日・希望メニュー、月目標の反省、次年度月目標 次年度自治会役員立候補者演説会、次年度自治会役員投票・開票

10. 食 事

食事は、利用者にとって最も楽しみにしている事の一つであるといっても過言ではない。利用者の年齢、健康状態に考慮した上で、家庭的な雰囲気の中で美味しく、楽しく食事ができるように配慮した。

必要栄養量の確保は勿論であるが、毎月1回実施された食事会議には利用者の自治会代表の出席も得て意見を述べてもらい、また「食事に関する意見箱」を食堂及び事務所に常設して広く意見を求めたり、調理委託業者「株式会社魚国総本社三重支店」に対して調整を図ったりして、利用者の嗜好、希望に配慮した献立の作成に努めた。衛生面については、細心の注意を払い、安全な食事の提供に努めた。

また食に対する楽しみを持って頂く為、自治会で希望を確認しながら、食事2回、おやつ2回を通常の食事にプラスして提供する機会を設け、利用者から大変好評を得た。

その他新型コロナウイルス感染対策として、食堂の座席を半分に減らし同時間帯で食事を摂る人数を減らすと共に、対面を避け斜め前で食事が摂れる環境を継続した。園内にて感染者が発生した際には使い捨て食器や弁当容器を使用して部屋食とし、感染拡大防止に努めた。

11. 医 療

看護師1名を配置し、日常的な健康管理と病気の予防、早期発見に努めた。嘱託医については、精神科医、内科医の2名に委託し、毎月利用者の健康相談にに応じていただいた。又、口腔ケアについて毎月1回昼食後に歯科衛生士により実技、歯磨き介助職員への指導を受け、口腔ケア支援方法の習得に努める予定であったが、新型コロナの影響等で指導を受けられない月もあった。日常ではグループごとで口腔体操を行い、口腔の衰えの予防・改善に努めた。その他3ヶ月に1回理学療法士による指導についても、個人プログラムに基づいたリハビリを実施し、身体機能の低下を防いだ。

感染症対策としては、年間を通して新型コロナウイルス感染症予防を徹底し、利用者の希望者には11月に新型コロナワクチンを接種。その他10月に利用者と職員にインフルエンザ予防接種を

実施すると共に、5月・9月・11月・2月には感染症の勉強会を開催し、意識の向上に努めた。利用者については、手洗い・うがいの励行と体温測定を行い状況把握に努めた。

尚、本年度の健康診断等については、(別紙2)のとおり実施した。また希望者は癌検診において前立腺癌は年1回、大腸癌、子宮癌は2年に1回受け、早期発見・早期治療に努めた。

12. 安全衛生管理

安全で健康的な住環境並びに活動環境を守るために、施設周り及び各居室、厨房の害虫駆除及び年3回大掃除の他定期的に清掃・消毒を行い衛生管理に努めた。昨年度一般浴槽にて高濃度のレジオネラ菌検出があり、レジオネラ症防止対策マニュアルに沿って確実に予防に努めた。

また毎月1回衛生委員会において諸問題についての確認・検討を行い、産業医により助言・アドバイスを頂きながらその内容を全職員に周知した。11月にはストレス検査を実施し、メンタルヘルスの不調を未然に防止することに努めた。

新型コロナウイルス感染対策としては、県内及び近隣の状況把握と毎日の館内消毒・換気に努め、利用者、職員に対しても感染予防の徹底を進めながら、毎月開催した衛生委員会にて発生状況を踏まえ様々な協議を進めたが、7月にクラスターが発生した。職員に対しては年間を通してマスク着用を義務付け、定期的にマスク配布を行った。

その他感染症発生時、可能な限り事業継続及び中断した事業の早期再開を図る為、業務継続計画(BCP)の研修・訓練を実施した。

13. 防火、防災、防犯対策

不幸にして施設が火災を起こした時、震災、洪水等自然災害に遭遇した時、各職員は利用者の人命の安全を第一義として適確な措置を講ずることが出来るよう、防火・防災・防犯対策として下記のとおり実施した。

- (1) 防火・防災管理者を選任し、防火・防災管理業務を遂行させた。防火・防災管理者は、自衛消防隊を組織し、全職員に周知徹底して、非常時において職員の一人ひとりが必要な役割が遂行できるよう指導、教育を行った。
- (2) 火災、地震・津波、河川氾濫を想定し利用者の避難誘導訓練等を年6回実施した。また12月に消防署係員立会いによる大規模災害訓練を実施した。救急法講習会については、感染症拡大防止の為、新任職員を中心に少人数で実施した。
- (3) 防災等にかかる職員の役割や避難方法、施設に備えている防災設備等の説明を採用時に行い、周知徹底を図った。
- (4) 本年度も引き続きSECOMと契約し、施設の財産保護の為、外部から侵入等のセキュリティ対策を講じた。
- (5) 自然災害発生時、可能な限り事業継続及び中断した事業の早期再開を図る為、業務継続計画(BCP)の研修・訓練を実施した。

【自衛防火・防災自主訓練内容】地震・津波による避難訓練

実施月	訓練内容
R6 9月	河川氾濫を想定した2階ホールへの避難誘導訓練及び職員の招集訓練
10月	厨房出火を想定した避難訓練。
10月	地震を想定した、夜勤者2名による夜間避難訓練
12月	大規模災害(地震・津波)を想定した総合訓練。消防署立ち会い
12月	2階ホールからの出火を想定した避難訓練。(非公開)
R7 3月	グループホームペガサス出火を想定した避難訓練。児童参加

14. 設備整備・維持管理等

利用者が快適な生活を送るために、整備された施設の環境保持は必要かつ重要なことである。このため、毎月1回の建物設備の自主点検を実施し、不備が確認された所は、迅速かつ適切に対応を行った。また、本年度は次の改修事業等を実施した。

- (1) 太平洋広場駐車場アスファルト舗装改修工事
- (2) 銀河前給水配管漏水修理
- (3) 受水槽取替
- (4) 事務所デスクトップパソコン買替(3台)
- (5) 厨房業務用冷蔵庫買替
- (6) 行事用折畳み長テーブル購入(10台)

15. 職員研修

「施設は人なり」と言われるように、利用者に対して適切な援助を行うためには、職員の専門的知識、資質を高めることが極めて重要である。このため、本年度は次のとおり職員研修を計画・実施した。

(1) 施設内研修

- ① グリーンプラザと合同による勉強会については、6月意思決定支援、7月救急法、10月虐待防止を実施した。
- ② 紀南ひかり園単独による勉強会については、1月新任職員研究発表、3月身体拘束・ハラスメントを実施した。
- ③ ケース事例研究会議を年5回実施し、管理者他支援員等が、処遇困難事例等の支援について検討した。

(2) 施設外研修

三重県知的障害者福祉協会、三重県社会福祉協議会、三重県障がい福祉課等が開催する研修会(一部オンライン)に各職員1回以上参加し、支援技術や資質の向上を図った。
職員研修等実施結果は、別紙3のとおり。

16. ボランティアの受入れ

行事「秋まつり」で、模擬店のガス風船販売(無料)、また音楽イベント(コンサート)の出演者として数名の受入れを行った。

17. 実習生、研修生の受入れ

実習生、研修生の受け入れについては、10月に同志社大学生1名の受入れを行った。

18. 苦情解決事業

例年第三者委員の方に行事等の祭に施設訪問をして頂いているが、感染症防止の為訪問は行って頂かなかった。今年度苦情・要望の件数は0件であった。

19. リスクマネジメント

利用者の安全を最大の着眼とした上で、サービスの質の向上と利用者満足度の向上をめざし、リスクアセスメントによるリスクの特定と確認を行い、発生の予想と事故の予測を立てることで事故の回避に努めた。

利用者支援での、13件の「ひやり・はっと事例報告書」「事故報告書」を作成・記録し、1回のリスクマネジメント委員会を開催し、再発防止のための対策を検討の上職員間で共有し、事故防止に努めた。

20. 接遇推進

不適切な処遇の予防・改善、接遇にかかる意識や技術の向上をめざし、接遇推進委員会が設定した月目標を朝礼で唱和するとともに、事務所や夜勤室に掲示して各職員への意識付けを行った。年2回アンケートに取組み、その結果を基に処遇改善に努めた。また担当者3名が年2回委員会を開

催し、月目標の設定やアンケートの取りまとめ、今後の取り組み等について検討を行った。

21. 節約推進

利用者・職員の節約に対する意識向上の為、目標を銀河・夜勤室・食堂等に掲示し、担当者2名が年2回委員会を開催し、目標の設定やアンケートの取りまとめ、結果報告、又、自治会からの意見収集を行い、節約意識の向上に努めた。

22. 虐待防止

虐待防止責任者、虐待防止担当者を各1名選任し、利用者の人権擁護、虐待防止に努めた。

5月職員個人及び施設のチェックリストの結果をもとに改善策について検討し、11月第三者委員、保護者代表に出席していただき、法人で虐待防止委員会を開催し、その結果を職員に周知した。

10月虐待防止に関する勉強会を開催し、三重県障害者虐待防止・権利擁護研修会に参加した職員による虐待実態、防止策、不適切な行為・支援等についての報告が行われ理解を深めた。

23. 身体拘束に関する検討委員会

夜間に無届外出や異食行為等の恐れや不穏時に暴力行為等に繋がる危険性のある場合など、本人及び他の利用者の安全確保のため自室の施錠対応等を行っている方について、3ヶ月ごとに身体拘束についての検討会を実施し、改善策及び身体拘束の必要性についての協議を行った。

また、3月に身体拘束に関する勉強会を開催し、身体拘束等の適正化における指針等についての説明を行い、職員の意識向上に努めた。

24. 抱えない・持ち上げない運動

平日昼休みの終わりにラジオ体操及びもう1曲健康体操を行い、利用者・職員共々健康増進及び腰痛など身体的負担の軽減に努めた。

25. ハラスメント防止対策

改正労働施策総合推進法（パワハラ防止法）の適用に伴い、ハラスメントに対する相談があれば迅速に対応し再発防止に向けた措置を講ずるため相談窓口（担当者）を設置し、今年度においては相談ケース0件であった。また、3月にハラスメントに関する勉強会を開催し、規定等についての説明を行い職員の意識向上に努めた。

26. 広報活動（情報公開）

施設の事業の状況等を広く情報公開し、理解を深めていただくため、広報誌「ふれ愛」をグリーンプラザと合同で年2回発行した。また、資産の状況等についてもこの広報誌に掲載した。

27. 福利厚生

職員の福利厚生面での処遇を厚くすることは、職員の勤労意欲の向上、定着を図る上で重要である。このため、次のとおり実施した。

- (1) 独立行政法人福祉医療機構並びに三重県社会福祉事業職員共済会の社会福祉施設職員退職手当共済制度に対象職員の加入を図った。
- (2) 福利厚生センターの実施する「ソウエルクラブ」に対象職員の加入を図り、便宜の供与が受けられるようにした。
- (3) 職員親睦会が行う事業への助成措置は、新型コロナウイルス感染防止の為行事を行わなかった為、助成は実施しなかった。
- (4) 健康診断やインフルエンザ予防接種の助成を行い、職員の健康増進と健康管理を行った。

28. 会議の運営

施設の民主的な運営を図るため、実行方針等の意思決定は、出来るだけ職員の合議により決定した。また、職員の職種間の連絡、意見調整を充分行い、全職員が積極的に業務を遂行することが出来るよう、下記の諸会議を運営した。

【紀南ひかり園単独会議】

会 議 名	内 容
運営会議	月 2 回、管理者他主任以上の役職者が参加して、園の運営上の課題について協議し、方針を決定した。
職員会議	年 3 回実施。その内 2 回は長期休暇前に管理者他支援員等が、休暇中の申し送り事項等の確認・連絡を行った。また 3 月に R 7 年度の事業説明会を実施した。
担当者会議	毎月 2 回、生活支援員、事務員、看護師、栄養士が出席し、各担当からの連絡事項や要請事項、自治会からの意見・要望について意見調整を行った。 また、業務改善や職員の意識向上を目的に、意見交換や情報共有を行い、利用者対応について協議したほか、「にこり・ほっと報告」や、ミニ勉強会（てんかん発作対応、同性介助など）も実施し、業務改善および利用者支援の質の向上を図った。
自己評価検討委員会	11 月に「みえ福祉サービス第三者評価基準」及び「障害者・児福祉サービス版自己評価シート【内容評価基準】」の項目に沿って評価を実施し、改善が必要な項目に基づいて改善計画書の作成を行い、改善に取り組んでいくこととした。
ケース事例研究会議	年 4 回、管理者他支援員等が、処遇困難事例等の支援について検討した。（年 5 回の予定であったが、7 月に新型コロナウイルス感染があった為 1 回中止となる）
個別支援計画策定会議	利用者個人ごとの受給者証の更新月に合わせ、年 2 回、利用者一人ひとりのニーズに沿ったサービス提供が計画的に実行できる様に、管理者（サービス管理責任者）、看護師、栄養士、生活支援担当者、原則利用者が参加して実施した。
リスクマネジメント委員会	年 1 回、管理者、係長（苦情受付担当者）、推進委員 2 名が参加し、「ひやり・はっと事例報告書」、「事故報告書」をもとに、再発防止に向けた対策を検討の上職員間で共有し、事故防止に努めた。
接遇推進委員会	担当者 3 名が年 2 回委員会を開催し、月目標の設定やアンケートの取りまとめを行い、職員に対し必要に応じてコメントや周知を行った他、今後の取り組み等についても検討を行い、利用者に対する虐待や不適切な処遇の予防、知識と技術の向上に努めた。
身体拘束に関する検討委員会	管理者、園長補佐（部長）、生活支援担当者が参加し、夜間及び早朝、または心身の状況による緊急時において、やむを得ず自室の施設対応等を行っている方について、3 ヶ月に 1 回（4 月、7 月、10 月、1 月）検討委員会を実施し、見直しを図った。
衛生委員会	月 1 回、管理者、園長補佐、衛生管理者（事務長）、衛生推進者（看護師）、産業医の 5 名で毎月の議題及び新型コロナウイルス対策について協議し、その結果を職員に周知し、衛生管理の徹底を図った。
節約推進委員会	担当者 2 名が年 2 回委員会を開催し、目標の設定やアンケートの取りまとめを行い、利用者・職員共に節約意識の向上に努めた。
人事考課評価委員会	評価委員が自己申告書を元に、評価委員会で昇格等について協議を行った。
契約職員評価委員会	主任・係長・部長による 1 次評価を元に、管理者、園長補佐、事務長出席による 2 次評価を行い、正規職員への転換について検討することとしているが、今年度は対象者がいなかった。

【法人及びグリーンプラザとの合同会議】

会 議 名	内 容
全体会議	今年度実施はなかった。
連絡調整会	毎月 1 回、法人の管理者及び園長補佐、事務長、部長が参加して、施設・事業所間の連絡調整を行った。
防火管理委員会	4 月、11 月に定例会を行い、訓練計画内容の確認、情報の共有や改善点等についての話し合いを行った。

食事会議	月 1 回合同で実施。管理者、部長、栄養士、看護師、委託業者及び利用者自治会代表者が出席して、献立についての検討や食事に関する意見の調整を行った他、食事全般について検討した。
個人情報管理委員会	2 月委員会を行い、三重県内の障がい者施設で発生した個人情報持ち出しについての情報共有、個人情報保護規程や管理規則等の確認を行った。
虐待防止委員会	5 月職員個人及び施設のチェックリストの結果をもとに改善策について検討し、11 月第三者委員、保護者代表に出席していただき、法人で虐待防止委員会を開催し、その結果を職員に周知した。10 月虐待防止に関する勉強会を開催し、意識向上に努めた。
広報編集委員会	感染症予防で行事が少なくなった為、発行回数を年 2 回、合同で実施した。
合同打合せ会	今年度は合同行事がなく、実施せず。

29. 保護者会

施設の状況等について連絡をとりながら、助成金等の協力を得た。

令和6年度 障害福祉サービス事業

指定短期入所事業所紀南ひかり園事業報告

介護を行う者（保護者等）の疾病等の理由により、在宅で介護を受けることが一時的に困難となった障がい児（者）を受け入れて、入浴、排泄及び食事等の日常的な介護の他、必要に応じた援助を行った。

1. 定員 1日4名

2. 利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
人数	7	4	3	1	2	4	4	3	7	2	3	1
日数	43	18	23	2	11	24	12	16	34	8	13	2

延べ 206日

※GH 若草入居者が体調不良の為、9/24～9/27、12/2～8の間短期入所を行った。

令和6年度障害福祉サービス事業（共同生活援助）

指定共同生活援助事業所紀南ひかり園事業報告

地域において快適な生活が送れるように、サービス管理責任者を配置し、個別支援計画に沿ってサービスが適切に提供されるように指導・管理すると共に、月1回ホーム毎に世話人との連絡会を開催し、業務・記録の確認及び助言を行った他、就業・生活支援センター「Colors」と連携して、就労に関わる支援を行った。

また日常においては、生活支援員及び世話人が個別支援計画に沿って、食事・入浴等の介助、洗濯・清掃・買物等の支援、日常生活上の相談や余暇の過ごし方等について支援を行った。又、染予防対策に努め、安心・安全な生活が送れるように支援すると共に職員対応による外出支援や余暇活動を行った。

新型コロナウイルス発生状況としては、7～8月に掛けて利用者4名の陽性が判明したが、クラスター化せずに終えることが出来た。

1. 利用者の状況

[友輪] 4月、利用者1名が体調面の配慮が必要であり、ジュピターへ移動。

[ジュピター] 4月、利用者1名が友輪から移動。1名が若草へ移動。

[若草] 4月、利用者1名がジュピターから移動。

ホーム名	定員		年度当初利用者数	年度中の異動	年度末利用者数
友 輪	6		4		3
若 草	5		4		5
ジュピター	4		4		4
ペガサス	4		4		4
合 計	19		16		16

2. 職員の異動

職種	年度当初職員数	年度中の異動	年度末職員数
管理者（兼務）	1		1
サービス管理責任者	1		1
生活支援員（常勤）	2 （1名サビ管兼務）		2
生活支援員（非常勤）	6		6
世話人	5	3月1名採用（用務員兼務）	6
事務員（常勤）	1		1
実員数計	15		16

3. 各グループホームの支援状況

毎月一回休日及び長期休暇の際にサービス管理責任者もしくは生活支援員を配置し、余暇支援の充実を図った。各グループホーム利用者の誕生月には利用者の希望を聞き、外注の食事やケーキ、鉄板焼きなど普段と違う夕食を楽しまれた。9、10月に2グループに分けてレクリエーションを行い、大台町方面へドライブ、道の駅おだいにて外食や買物を楽しまれた。

また引き続き加齢と共に通院が増えており、必要に応じて通院支援を行った。

友 輪	日中活動の場として利用しているグリーンプラザと連携を取りながら、心身共に健康で落ち着いた生活が送れるよう支援した。又一般就職している利用者に関しては就業・生活支援センター「Colors」と連携し、情報共有を行いながら必要に応じた支援を行った。余暇支援としては、新型コロナウイルス感染防止の為、月1回外注の弁当とドライブ、9月のレクリエーションや個別の買物支援に留まった。
若 草	日中活動の場として利用している紀南ひかり園と連携を取りながら、心身共に健康で安定した生活が送れるよう、又高齢者のライフスタイルとして「のんびり、ゆったり、生き甲斐のある」生活が送れるように支援を行った。余暇支援としては新型コロナウイルス感染防止の為、10月のレクリエーションや休日のドライブ、個別の買物支援に留まった。
ジュピター	日中活動の場として利用している紀南ひかり園やグリーンプラザと連携を取りながら、心身共に健康で落ち着いた生活が送れるよう支援した。余暇支援としては、新型コロナウイルス感染防止の為、月1回外注の弁当とドライブ、10月のレクリエーションや個別の買物支援に留まった。
ペガサス	日中活動の場として利用している紀南ひかり園やグリーンプラザと連携を取りながら心身共に健康で落ち着いた生活が送れる支援した。余暇支援としては、新型コロナウイルス感染防止の為、月1回外注の弁当とドライブ、9月のレクリエーションや個別の買物支援に留まった。又、それぞれの趣味を生かした作品作り・園芸活動などを行ったりしながら楽しみをもった生活が送れるように支援を行った。

4. 個別支援計画

指定特定相談支援事業所のサービス利用計画を基に、さらに利用者及び家族の意向、ニーズの把握（アセスメント）を行った上で個別支援計画を作成し、それに基づいた支援の実施、再評価を行った。

尚、個別支援計画は6ヵ月に1回、見直しを行った。

月	内容
4月	個別支援計画の説明・同意・交付
9月	モニタリングの実施、必要に応じて個別支援計画の見直し、個別支援計画策定会議で内容の確認
10月	個別支援計画の説明・同意・交付
3月	モニタリング、アセスメント・課題分析、個別支援計画策定会議で内容の検討と確認 次年度の個別支援計画の作成

5. 食事

世話人が1ヶ月の献立を作成し、必要に応じて障害者支援施設紀南ひかり園の栄養士が栄養のバランス等について助言を行った。世話人は献立に基づいて食材を購入・調理し食事を提供した。又、利用者の誕生月には、希望メニューの提供や外注の食事を楽しまれた。

6. 健康管理

健康診断及びがん検診等を実施。また、常時利用者の心身の状態を把握すると共に、状態に応じて早めの検査や受診を心掛け通院支援を行った。

感染症対策としては、年間を通して新型コロナウイルス感染症予防を徹底し、利用者の希望者には新型コロナワクチンを接種。その他10月に利用者と職員にインフルエンザ予防接種を実施すると共に、5月・9月・11月・2月には感染症の勉強会に参加し意識の向上に努めた。利用者については、手洗い・うがいの励行と体温測定を行い状況把握に努めた。

7. 防災対策

(1)「若草」・「ジュピター」・「ペガサス」においては、紀南ひかり園の避難訓練に併せて実施。

(2)「友輪」については、地震・津波を想定した避難訓練を下記のとおり実施した。

実施月	実施内容
R6年 8月	玄関からの出火を想定し、避難訓練(建物外への避難)を実施。防災設備や避難経路の説明を行った。
12月	地震による津波を想定し、避難訓練(建物外への避難)を実施。防災設備や避難経路の説明を行った。

8. 設備整備等

建物や設備等の不備については、都度確認し必要に応じて修繕等を行った。

9. 苦情解決

苦情・要望としては特にあがらず、対応に至らなかった。

10. 接遇推進

不適切な処遇の予防・改善、接遇にかかる意識や技術の向上をめざし、紀南ひかり園接遇推進委員会が設定した月目標を朝礼で唱和するとともに、年2回アンケートに取り組み、結果を基に処遇改善に努めた。

11. 虐待防止

5月、職員個人及びGHのチェックリストの結果をもとに改善策について検討した。又、10月施設内での虐待防止のための勉強会に参加した。

12. 会議の運営

開催頻度	内容
個別支援計画策定会議 (年2回)	利用者一人ひとりのニーズに沿った支援計画を策定していくために、個別支援計画の原案の内容について検討し決定した。管理者、サービス管理責任者、生活支援員、看護師、栄養士が参加して実施した。
各グループホーム連絡会 (月1回)	サービス管理責任者・世話人が出席し、業務・記録の確認と利用者支援に関わる助言を行った。
GH自己評価検討委員会	11月にグループホーム自己評価チェック表に沿って評価を実施し、

	改善が必要な項目に基づいて改善計画書の作成を行い、改善に取り組んでいくこととした。
--	---

13. 職員研修

(1) 外部研修

月	内 容
R6年 7月	県社協業種別研修会 1名
11月	サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者更新研修 1名

(2) 施設内研修

紀南ひかり園が実施した勉強会(10月救急法、11月虐待防止・身体拘束、福祉用具・機器等の講習会、1月アンガーマネジメント、その他感染症等)に参加した。又、年4回実施されたケース事例研究会議に参加し、処遇困難事例等の支援について検討を行った。

14. その他

身体障がい・知的障がい支援部会にサービス管理責任者が部会員として協議に参加した。

月	協議内容
R6年 8月	今年度の計画について、アンケートについて等
10月	災害時の課題について、その他の課題について等

令和6年度 放課後等デイサービス事業 児童デイサービス事業所「ひかり」事業報告

利用児童の受入れにあたっては、保護者や学校関係者から本人の状況等について十分な聴き取りを行ったうえで日課のプログラムを組み、活動を通してのびのびと楽しく過ごせる居場所づくりに努めた。また個々の障がい特性を理解し、情緒の安定に努めると共に日常生活における基本的動作の指導を行った。デイでの活動以外にも家庭生活の相談やスキルアップ面などにも焦点を当てて学校や家庭、各相談機関と連携を図った。昨年度比で職員体制が1名減となり新規児童の受け入れを停止しているが、既存の利用登録児童についても見守り強化を図る必要があり安全面を優先したり、強度行動障害児支援加算のプログラムを取り入れながらの対応を開始した。

なお、令和6年度は以下のとおり事業を実施した。

1. 定員と利用契約者数

定員 10名

利用契約者数 前年度末 13名

新規 0名

契約解除 3名【高等部卒業により2件減、他事業所移行により1件減】

年度末時点 10名(内訳 熊野市8名、御浜町2名、紀宝町0名)

2. 職員配置

職種	年度当初の職員数	年度中の異動等	年度末職員数
管理者	1		1
児童発達支援管理責任者	1		1
保育士	0		0
児童指導員	2 (正規1名、非正規1名)		2 (正規1名、非正規1名)

3. 利用実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
営業日数(日)	22	22	21	22	22	22	22	22	22	22	20	22	261
利用者数(人)	13	12	12	12	12	12	12	12	13	13	11	12	146
述べ利用者数(人)	173	176	148	147	169	159	178	163	169	160	142	153	1,937
1日平均利用者(人)	7.8	8.0	6.7	6.6	7.6	7.2	8.0	7.4	7.6	7.2	7.1	6.9	7.4

※高等部の生徒が多くなり、学校の現場実習月は事業利用が少なくなる傾向にある。

4. 活動支援

利用児が可能な限りその地域における生活が継続できることを念頭に、利用児等のニーズに沿った「個別支援計画」を策定し、これに基づき支援を行った。個々の発達に合わせた日常生活における基本的動作を習得するための支援と必要な介助やスケジュール表など視覚化支援により見通しを持って活動参加できるようにも配慮する取り組みを開始した。

近年の傾向として利用児童間での発達レベルの差が大きく1つの集団活動ではなく、臨機応変に判別行動して遣り甲斐のある時間を過ごしてもらっている。また強度行動障害に該当する難しいケース対応も必要になってきており役割分担や無断外出対策として補助錠などの物理的対応を要した。

5. 日課

下記のとおり活動の目安として日課を定めて実施し、活動の充実を図る事が出来た。

通常時			土曜日・長期休暇時		
時間	日課	内容	時間	日課	内容
14:10	通所	特別支援学校等へ迎え	8:30	通所	来所、自宅等へ迎え
14:30	自由遊び	広場遊び、室内遊び、(宿題)	9:30	活動	散歩、公園遊び、宿題(長期休暇) DVD鑑賞、ドライブ等
15:45	おやつ	手洗い、準備、喫食	12:00	昼食	手洗い、準備、喫食
16:10	活動	散歩、公園遊び DVD鑑賞、ドライブ等	13:30	活動	水遊び(夏季)、散歩、公園遊び DVD鑑賞、ドライブ等
17:30	帰宅	保護者迎え、自宅へ送り	15:30	帰宅	保護者迎え、自宅へ送り

6. 行事

日頃出来ない体験を通して季節の変化や仲間と過ごす楽しみを感じ、良い思い出作りを支援した。

月	行事名	内容
5月	お楽しみ会	AM 会場設営・ドライブ(買い出し) PM 会食・ゲーム(景品あり)
7月	夕涼み会	事業所(広場周辺)にて軽食・ゲーム(景品あり)・花火など
12月	クリスマス会	会場設営・散歩・調理実習等・ゲーム(景品あり)

車移動の長い『遠足』をなくして『夕涼み会』を設定したが終始楽しんでもらっていた。

7. 地域交流

コロナウイルス感染対策として見合わせ中。

日々の散歩や公園遊びの中で挨拶運動を実施し、地域住民との関わる機会に配慮した。

8. 個別支援計画

利用児童及び家族の意向、ニーズの把握(アセスメント)を行い、個別支援計画を作成し、それに基づいた支援の実施、再評価を行った。

9. 相談援助及び連携

家族の希望や必要に応じて、送迎時や電話等により相談援助を行った。

事業所として解決まで導くことが困難と思われる事例については、専門の相談員を紹介したり、ケース会議開催ができるよう対応した。

10. 健康管理

常時利用児童の心身の状態を把握し、健康管理に努めた。また、安全で健康的な活動環境を守る為に、年2回の大掃除や定期的に遊具・玩具の洗浄と消毒を行った。受診状況や服薬状況に変化があれば保護者との情報連携を強化した。

11. 防災対策

併設の紀南ひかり園が実施する避難訓練1回(3/26グループホームペガサスから出火を想定)に参加した。

12. 設備整備等

特になし。

13. 苦情解決

特になし。

14. 接遇推進

不適切な処遇の予防・改善、接遇にかかる意識や技術の向上をめざし、紀南ひかり園接遇推進委員会と連携して年2回アンケートに取組み、その結果を基に処遇改善に努めた。

15. 虐待防止

職員個人及び施設のチェックリストの結果をもとに改善策について検討した。

10月に開催した虐待防止に関する勉強会については、児童受入れの関係で2名のみの参加であったが、議事録の閲覧などで情報共有を図った。

16. 会議

以下の通り、実施した。

会議名	内容
職員会議	隔週で児童発達支援管理責任者、保育士、指導員が参加し、活動予定の確認や行事内容の検討、必要に応じて注意事項の確認等を行った。利用児の好ましい行動を増やしたり、スキルアップのために追跡的に対応方法を検討する機会とした。
個別支援計画策定会議	利用児一人ひとりのニーズに沿ったサービス提供が計画的に実行できる様に、管理者、児童発達支援管理責任者、指導員が参加し実施した。
自己評価検討委員会	放課後等デイサービスガイドラインに沿って評価を実施し、改善が必要な項目に基づいて改善計画書の作成を行い、改善に取り組んだ。また、その結果をホームページで公表した。

17. 研修等

(1)事例検討会議

計画相談事業所からの要請により担当者会議や関係機関からの要請によるケース会議には出席したが、例年開催している各学校との連携会議は新型コロナウイルス感染防止の為見合わせた。

(2)外部研修(リモート研修含む)

以下の通り実施した。

月	主催	研修名	参加人員
R6年 7月	紀南圏域自立支援協議会 発達支援部会	言語聴覚士 福田尚子さんによる連続講座 第2回『学習につながる基礎の力』 ※動画録画視聴	2名
8月	三重県子ども・福祉部 福祉監査課	令和6年度障害福祉サービス事業者等 集団指導(動画視聴)	1名
R7年 2月	紀南圏域自立支援協議会 発達支援部会	志村浩二さんによる研修会 『発達検査の読み解き方・活用方法』	2名

(3)施設内研修

普通救命講習(7月)に1名、虐待防止・身体拘束に関する勉強会(10月)に2名など放課後等デイサービス事業に支障のない範囲において参加した。

(4) その他(リモート会議含む)

1. 紀南地域自立支援協議会に年2回、発達支援部会に年4回出席(リモート形式含む)。

月	協議内容
R6年 7月 第1回発達支援部会	役員選任、福祉人材確保の方策検討研修会に関する検討、福祉資源マップ作成作業、新規部会員追加に関する検討など
7月 第1回放デイ職員交流会	夏季休暇期間中の各事業所の受け入れ状況・活動内容紹介 制度改正に関わる情報共有
10月 第2回発達支援部会	福祉人材確保の方策検討研修会に関する検討、福祉資源マップ作成作業、地域の困難ケース紹介・対応策検討など
12月 第1回放デイ職員交流会	平日・長期休暇の受け入れ状況・活動内容の情報共有、事業所間交流の企画、圏域内の課題の共有
12月 第3回発達支援部会	福祉資源マップ作成作業、研修会案内等
R7年 1月 第4回発達支援部会	総括、意見交換

18. 保護者会

新型コロナウイルス感染防止の為、保護者参加型の行事を見合わせたことで、今年度は開催を実施しなかった。

令和6年度相談支援センターらいふ事業報告
指定特定相談支援事業、指定障害児相談支援事業

1. 事業の概況

当法人が運営する事業を利用する利用者または障害児とその保護者（以下「利用者等」という）で、主として知的に障がいのある利用者等を対象として、日常生活全般に関する相談を受けて、利用者等の1人ひとりの意思を尊重して、その有する能力及び適性に応じ、自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、保健、医療、福祉、就労支援、教育等の福祉サービス等が多様な事業所から、総合的かつ効率的に提供されるよう配慮しながら、1人ひとりの状況にあったサービス等利用計画または障害児支援利用計画を作成して相談支援を行った。

令和6年度においては、新たに2名と新規利用契約を締結した。また、他事業所のサービス利用、障害福祉サービスの利用終了等により、2名との利用契約を終結させている。その他に18歳到達に伴い計画相談事業の種別変更が2件あった。

2. 職員体制

管理者 1名（常勤兼務）

相談支援専門員 1名（常勤専従）の体制で実施した。

3. 事業の実施地域

原則、熊野市、御浜町、紀宝町の利用者等としているが、当法人が運営する施設入所支援等の利用者であって対象外市町村からの依頼があった下記のものについても計画相談の対象として相談支援を実施した。尾鷲市2名、紀北町1名、北山村1名、西宮市1名、桑名市1名、志摩市1名、四日市市1名。

4. 営業日及び営業時間

原則としている営業日または営業時間の他、保護者又は家族等の都合により、営業時間外での面談等の対応も行った。

5. 事業の実施状況

（1）指定特定相談支援事業

①計画相談支援 対象者：障害福祉サービスの利用者（94名）

②基本相談支援 対象者：障害児（者）及びその保護者又は介護者

（2）指定障害児相談支援事業

①障害児相談支援 対象者：障害児通所支援を利用する障害児（7名）

※今年度新型コロナウイルス感染防止の為、殆どの相談を電話にて対応した。

（3）令和6度における相談支援の状況は以下のとおり。

（4）サービス担当者会議の開催

R6年度	項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
計画相談支援	計画	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
	モニ	15	19	23	19	11	7	6	7	22	18	12	11	170
	モニ計画	0	0	5	9	6	9	9	14	6	9	4	6	77
	計画/モニ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	15	19	28	27	17	16	15	21	28	27	16	19	249
障害児相談支援	計画	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	モニ	0	0	0	0	1	2	0	0	3	1	0	2	9
	モニ計画	0	0	3	1	0	0	0	0	0	0	1	2	7
	計画/モニ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	0	0	3	1	1	2	0	0	3	1	1	4	16
	計	15	19	31	28	18	18	15	21	31	28	17	23	265

計画の新規作成又は更新に当たり、関係事業者の担当者等を招集してサービス担当者会議を開催し、専門的な立場からの意見を聴取した。

月	開催回数（者）	開催回数（児）	計
4月	0回	0回	0回
5月	0回	0回	0回
6月	5回	3回	8回
7月	9回	1回	10回
8月	6回	0回	6回
9月	9回	0回	9回
10月	9回	0回	9回
11月	14回	0回	14回
12月	9回	0回	9回
1月	9回	0回	9回
2月	4回	1回	5回
3月	6回	2回	8回
合計	80回	7回	87回

6. 苦情及び相談の受付

今年度直接サービスに対する苦情を何うことや利用者の記録等の情報開示の請求等を受けることはなかった。

日 課 表

紀南ひかり園

月曜日～金曜日		土曜日(営業日)		土曜日・日曜日(休日)	
時間	日課	時間	日課	時間	日課
6:45	起床・着替え 整容	6:45	起床・着替え 整容	7:30	起床・着替え 整容
7:20	朝食(9:00迄)	7:20	朝食(9:00迄)	7:50	朝食(9:00迄)
8:30	モーニングインセクション	8:30	モーニングインセクション		館内掃除・散歩
9:00	職員朝礼	9:00	職員朝礼	9:00	職員朝礼
9:30	通所利用者来園 日中活動	9:30	通所利用者来園 余暇・レクリエーション等	9:20	余暇 日中入浴
11:30	日中活動終了				
11:35	昼食(13:00迄)	11:35	昼食(13:00迄)	11:35	昼食(13:00迄)
13:00	日中入浴	13:00	日中入浴	13:30	日中入浴
13:10	体操・レクリエーション		余暇		余暇
14:15	ティータイム 生活支援	14:15	ティータイム		(ドライブ・カラオケ等)
					コーヒータ임
15:30	通所利用者帰宅	15:30	通所利用者帰宅		
16:00	余暇	16:00	余暇		
17:05	夕食(19:00迄)	17:05	夕食(19:00迄)	17:05	夕食(19:00迄)
	余暇		余暇		余暇
19:15	ティータイム 就寝準備・余暇	19:15	ティータイム 就寝準備・余暇	19:15	ティータイム 就寝準備・余暇
23:00	最終就寝時間・消灯	23:00	最終就寝時間・消灯	23:00	最終就寝時間・消灯

【備考】 水曜日は不定期でAMクラブ活動実施。またPM身辺処理を実施。

利用者

年 月	対象人数	内 容	実施機関
4月～3月	0名	子宮癌検診	大石・尾鷲総合病院婦人科
7月～12月	25名	前立腺癌検診	協立医院
4月～3月	47名	大腸癌検診	協立医院
4月	39名	定期健康診断	協立医院
7月～8月	6名	定期健康診断	協立医院
7月	52名	歯科検診	斉藤歯科
10月	59名	インフルエンザ予防接種	協立医院（往診）
10月～11月	49名	定期健康診断	協立医院
11月	55名	新型コロナワクチン8回目・他	協立医院（往診）他

※嘱託医による健康相談、体重、血圧測定は月1回実施。

（但し、定期健康診断実施月は測定せず。）

※定期健康診断時、乳癌検診（触診）実施。

職員

年 月	対象人員	内 容	実施機関
4月	6名	定期健康診断	和田医院
7月～10月	29名	定期健康診断	社会保険病院(検診車)他
10月～11月	52名	インフルエンザ予防接種	協立医院往診・受診
10月～12月	25名	定期健康診断	和田医院
3月	9名	定期健康診断	和田医院

令和6年度 職員研修等実施結果

月	主 催	研 修 名	参加人員
4月	三重県知的障害者福祉協会	施設長・事務・管理職員等研修会	2名
5月	三重県知的障害者福祉協会	新任職員等研修会	1名
	三重県社会福祉事業職員共済会	退職手当共済制度初任者等実務研修会オンライン	1名
6月	三重県社会福祉協議会	タイムマネジメント研修オンライン	1名
	三重県社会福祉協議会	課題別専門研修「ICTを活用した業務改善」オンライン	1名
7月	三重県社会福祉協議会	障害福祉施設職員研修「意思決定支援」	1名
	三重県社会保険協会	社会保険事務セミナー（基礎講座）	1名
	三重県社会福祉協議会	キャリアパス対応生涯研修「初任者コース」	2名
	三重県社会福祉協議会	課題別専門研修「福祉現場で役立つチームマネジメント」	1名
	NPO法人ふらっと	次世代リーダー養成講座	1名
8月	日本知的障害者福祉協会	全国施設長会議動画配信	1名
	三重県社会福祉協議会	キャリアパス対応生涯研修「中堅職員コース」	1名
	三重県社会保険協会尾鷲支部	社会保険事務セミナー（基礎講座）	1名
	三重県社会福祉事業職員共済会	業務運営規程改正にかかる事務取扱説明会オンライン	1名
	NPO法人ふらっと	次世代リーダー養成講座	1名
9月	三重県障がい福祉課	障害者虐待防止・権利擁護研修共通講義 YouTube	1名
	三重県社会福祉協議会	キャリアパス対応生涯研修「中堅職員コース」	2名
	東海地区知的障害者福祉協会	東海地区施設長研究協議会	1名
	NPO法人ふらっと	次世代リーダー養成講座	1名
10月	三重県社会福祉協議会	キャリアパス対応生涯研修「チームリーダーコース」	2名
	三重県社会福祉協議会	リスクマネジメント研修オンライン	1名
	NPO法人ふらっと	次世代リーダー養成講座（2回）	1名
11月	三重県障がい福祉課	障害者虐待防止・権利擁護研修障がい福祉サービス事業所等コース YouTube	1名
	東海地区知的障害者福祉協会	東海地区職員研究協議会	1名
	三重県社会福祉協議会	社会福祉施設等職員研修「強度行動障害について」オンライン	1名
	全国社会福祉協議会中央福祉学院	会計実務講座中級施設コーススクーリング	1名
	三重県知的障害者施設保護者連合会	三重県知的障害者施設保護者連合会研修会	1名
12月	三重県社会福祉協議会	キャリアパス対応生涯研修「初任者コース」	1名
	NPO法人ふらっと	次世代リーダー養成講座	1名
1月	みえ介護生産性向上支援センター	介護現場における生産性向上に向けた研修会	2名
	熊野コピーセンター（リコー）	人材不足を解消するための革新的な業務生産性向上セミナー	1名
	NPO法人ふらっと	次世代リーダー養成講座	1名
	三重県社会福祉協議会	自主企画研修「セルフケア研修～心の免疫力アップ」オンライン	1名
2月	三重県社会福祉事業職員共済会	退職手当共済制度実務研修会	1名
	NPO法人ふらっと	次世代リーダー養成講座	1名
	三重県福祉栄養士研究会	オンライン研修	1名
3月	熊野労働基準監督署	ノーリフトケア（腰痛予防）に関する研修会	1名

グリーンプラザ

令和6年度グリーンプラザ（生活介護・就労継続支援B型）事業報告

1. 利用者の異動

年度中の利用者の異動は下記のとおり。

生活介護

定員	年度当初在籍利用者数		新規利用	利用中止	異動年月日	年度末在籍利用者数
20名	男性	13名		1名	R7.3.31	12名
	女性	6名				6名
計	19名					18名

就労継続支援B型

定員	年度当初在籍利用者数		新規利用	利用中止	異動年月日	年度末在籍利用者数
20名	男性	13名	1名		R6.4.1	15名
			1名		R6.7.1	
	女性	5名		1名	R7.3.31	4名
計	18名					19名

* 就労継続支援B型利用中止の利用者はR7.4.1～生活介護を利用

2. 職員の異動

年度中の職員の異動は下記のとおり。

職種	員数	区分	年度末職員数
管理者	1	常勤（サービス管理責任者兼務）	常勤1
事務員	1	常勤（生活介護生活支援員兼務）	常勤1

生活介護

職種	員数	区分	年度末職員数
生活支援員	5	常勤4（内1名事務員兼務）非常勤1	常勤4、非常勤1

就労継続支援B型

職種	員数	区分	年度末職員数
職業指導員	4	常勤2、非常勤2	常勤2、非常勤1
生活支援員	1	常勤	常勤1
就労支援事業指導員	1	非常勤1	非常勤1
目標工賃達成指導員	1	常勤（職業指導員兼務）	常勤1

3. 日課・利用状況

日課については原則「週時間割」に沿って実施した。

営業日は原則月曜日から土曜日としたうえで、年間で暦月日数から8を引いた日数以上の休日を確保するために必要な場合には土曜日を休業日とした。8月31日に台風接近のため臨時休業日とした。

営業日は268日となった。なお、年間を通して生活介護93％・就労継続支援B型90%の利用率であった。

4. 個別支援計画

モニタリング後、利用者の状態に大きな変化があった時には再アセスメントを行い、利用者（保護者）の意向や状況の変化を確認し支援計画を見直したうえで、利用者（保護者）に説明し同意を得た。

遠方のため面談に来所することが困難な保護者については、本人への説明後計画書等の書類を郵送し、電話で説明したうえで同意を得て返送してもらった。

5. 生活介護（軽作業チーム）

生産活動の機会を通して利用者1人ひとりに合った作業を提供して実施し、情緒の安定を図りながら落ち着いた日々が送れるよう支援した。受託作業、自主製品作り（刺し子・刺繍・染物製品、プリン石鹸、EM製品）を行い、自主製品については、事務所前や地域の店舗（里創人熊野倶楽部、お綱茶屋、ファッションハウス檜作ピネ店、いこらい屋、ほほえみかん等）で販売した。

（1）受託作業

糸川屋製菓（株）から箱折りや菓子詰め等、年間を通して継続して取り組むことができた。かわばた（株）からは干物用の箱折りを行い、ファッションハウスマリモからはTシャツやフェイスタオル等の袋詰め、Tシャツのラバーシート剥がし作業が例年を上回る数が入り、継続して取り組んだ。

（2）刺し子・刺繍・染物製品

熊野市教育委員会から二十歳を祝う会の祝い品の注文が入り、刺し子コースター1枚ずつ袋詰めをして119枚作製した。染色専門店「そめやなないろ」からは藍染生地への刺し子の受注が継続して入り、服地用の刺し子のほか、巾着、コースターに加え、新たにカードケースの注文を受け、商品化まで行った。

（3）プリン石鹸

食用廃油を利用したリサイクル製品としてプリン石鹸を製造し、販売した。

（4）EM製品

EM活性液、メディウムシロップ、EM2次液を製造し販売した。

（5）クワガタ産卵木

クワガタ虫産卵木の皮剥ぎ、真空パック詰め作業を行い販売した。

（6）事業所内委託作業

事業所からの委託を請けて、館内の清掃作業を年間通して行ったほか、栽培・洗濯チームからの委託を請けて、トマト出荷準備に取り組んだ。また、清光会からの委託作業として、年2回発行された広報誌「ふれ愛」の宛名シールを貼って封入するまでの作業を行った。

（7）その他の作業

事業所外委託業務として、熊野市市長公室からのイベント用おもちゃメガネ作り、福祉事務所からの保護区保護司会啓発物品作り、市民保険課からの人権週間用啓発物品作りを行った。

作業種目	内 容
メガネ作り	オールくまのフェスタ用おもちゃメガネ
啓発物品制作・袋詰め	熊野保護区保護司会啓発物品（コースター・物品）
啓発物品作り	人権週間用啓発物品（タオル）
その他	二十歳を祝う会の祝い品

6-1. 就労継続支援B型（栽培・洗濯チーム）

年間を通して計画的、効率的、安全性に配慮した事業運営を心掛けた。また、暑い時期の熱中症対策の一環として空調服ベストを天候や作業状況に応じて着用し作業に取り組んだ。

(1) 青果きゅうり栽培

3つのハウスを効率よく使用し収穫時期の重なりを考慮し栽培することで切れ間なく収穫し出荷・納品することが出来たが収穫量が伸びず年間で約33,000kgと昨年度を下回る結果となった。

(2) トマト栽培 (トマトベリー)

例年同様に高温障害を避けるために9月上旬に定植を行った。年間通して特別生育不良に陥ることとはなかったが、収穫量は年間で約4,200kgと昨年度下回る収穫量であった。

(3) 野菜苗(主にゴーヤ苗)の受託育苗

(株)サンファームから野菜育苗(主にゴーヤ)の委託を請け、育苗と約20,800鉢の発送を行った。忙しい時期には大人数で取り組めるよう計画的に作業を進め滞りない受託業務の遂行に努めた。

(4) その他野菜

スナップエンドウ、玉ねぎ、ブロッコリー、ジャガイモ等を栽培した。

(5) 販売店等

栽培した野菜等は、売れ行き状況や市場価格の把握に努め、より収益が上がるよう価格設定や各店舗等への出荷量を調整し販売した。また、イベントでの対面販売も行った。

種別 販売先	きゅうり	トマト	その他 野菜
新宮青果	○	○	
ほほえみかん	○	○	○
御浜給食センター	○		
金山保育所	○		
(株)魚国	○	○	
各種イベント	○	○	

(6) 洗濯業務

衛生面に配慮して取り扱い前の手洗いの実施とエプロンを着用し、きなん苑入所者の衣服洗濯業務に取り組んだ。数量については先方任せのところではあるが今年度は当初の計画の約107%であった。

(7) その他

廃材等は留保することなく処分に努め、敷地内の除草に心掛け環境整備と害虫防除に取り組んだ。

7. 訪問支援

今年度は訪問支援の実施を行うことはなかった。

8. 工賃

利用者の労働意欲を高めるとともに利用者の生活を支えるという本事業所の目的に沿って、各事業が得た収益を対象者に工賃として支給した。今年度は、4月、10月及び新規利用者が入所した11月に工賃決定会議を開催しマニュアルに沿って適正な工賃決定に努めた。7月、12月にはボーナス支給し、また年度末余剰金が発生したため、特別ボーナスを支給し調整を行った。

【工賃支給状況】

チーム	年間支給額	月平均支給額
栽培・洗濯チーム	5,374,270円	25,020円/1人
軽作業チーム	2,394,310円	11,336円/1人
全体	7,768,580円	

9. レクリエーション

日々の仕事の励みとなるよう年7回のレクリエーション等を実施した。実施にあたっては、利用者の希望を確認し実施した。

【実施状況】

実施日	内 容	実施場所
R6. 4. 3	花見	グリーンプラザ内
6. 13	DVD鑑賞・卓球	グリーンプラザ内
9. 19	ボウリング	新宮東宝ボウル
10. 29	秋まつり	グリーンプラザ内
11. 14	カラオケ・ドライブ	グリーンプラザ内・尾鷲方面(三重県立熊野古道センター)
12. 12	忘年会	瀬流荘
R7. 1. 7	初詣	花の産神社

10. 自治会

利用者が主体となる自治会に対し、自主的な話し合いができるよう、進め方等について支援した。山崎運動公園の奉仕活動や、事業所周りの環境美化活動などに自治会が主となって取り組んだ。また春と秋の全国交通安全運動週間及び夏と年末の県民運動期間中は、交通ルールの習得と安全意識の向上のための取り組みを実施した。

実施日	種 別	内 容
R6. 4. 2	奉仕活動	グリーンプラザから山崎運動公園・芝園バス停までの清掃活動
4. 5	第1回役員会 第1回自治会	春の全国交通安全週間（4月6日～15日）について
5. 24	環境美化活動	事業所周りの除草、溝掃除等
7. 12	第2回役員会 第2回自治会	夏の交通安全県民運動（7月11日～20日）について
9. 21	第3回役員会 第3回自治会	秋の全国交通安全運動（9月21日～30日）について
11. 29	第4回役員会 第4回自治会	年末の交通安全県民運動（12月1日～10日）について
R7. 1. 10	第5回自治会	令和6年度事業所利用者満足度アンケート聞き取り 令和7年度レクリエーションについて 令和7年度自治会活動の内容について
3. 21	第5回役員会 第6回自治会	令和7年度自治会役員選挙について 令和7年度自治会役員立候補者の選出について
3. 25	第7回自治会	令和7年度自治会役員選挙・投票・開票

11. 生活支援

仕事や集団活動をととして「睡眠」以外の基本的な生活習慣である「食事」「排泄」「清潔」「衣服の着脱」への支援や社会生活において一般的に必要な「時間を守る」「約束を守る」「きちんと挨拶をする」といったルールやマナーなどについて助言や指導を行い、これらを身につけることでより快適な地域生活が送れるよう必要な助言、支援を行った。また、就労支援においても働くことへの支援自体が生活支援であるとして、より豊かな地域生活に繋がるよう利用者の立場に立った支援を心掛けた。

12. 食事

紀南ひかり園の栄養士が作成した献立表をもとに、(株)魚国総本社三重支店に調理委託し、食事を提供した。利用者1人ひとりの嗜好を把握するため、4月に嗜好調査を実施し可能な限り希望に沿った食事が提供できるよう努めた。毎月1回紀南ひかり園と合同で、委託業者と利用者代表1名、職員2名が出席する食事会議を実施し、よりよい食事を目指して協議した。日々の食事に関する意見については娛樂室に「食事に関する意見箱」を設置し、意見があった場合は食事会議で検討し利用者朝礼等で結果を報告した。また食事環境等検討会議を年2回実施し、職員間で意見交換をしながら随時検討を行った。検食時間については、引き続き11:30とし、食事時間については、1便11:45（軽作業チーム）、2便12:15（栽培・洗濯チーム）に分けて、対面にならないように席を配置し、出来る限り黙食を心がけた他、食堂に次亜塩素酸空間除菌脱臭機（ジアイーノ）を設置し感染予防に心掛けた。

13. 医療・健康管理

引き続き感染予防として、通所前には毎日各自で検温をお願いし、通所後、食事前、作業終了後には手洗い、うがい、手指のアルコール消毒を行うとともに、マスクについては正しい着用を説明し、利用者の健康管理に留意した。健康診断、インフルエンザ予防接種を実施し、健康状態の把握と感染症予防に努めた。毎月1回第2水曜日に嘱託医による健康相談日を設け、必要に応じて診察を受けたほか、毎月1回第3水曜日には看護師による体重・血圧測定を行い、その測定値を各担当で記録した。その他、感染症対策として年3回の感染症対策会議を開催し、また新たに感染症におけるBCP研修を1回実施し、感染症に対する知識と対応策の周知を図った。

14. 衛生管理

感染予防として、週2回（水・金）利用者帰宅後に館内の特に手の触れる箇所の塩素消毒を行った。また、事業所及び周辺の環境衛生管理及び清掃、消毒等実施し衛生管理を適切に保つよう努めた。

実施日	実施内容	備考
R6. 4. 10	衛生管理検討会議	事業所周辺への影響に係る定期点検、感染症予防対応、熱中症について
4. 12	厨房害虫駆除	ゴキブリ対策
5. 24	建物周りの害虫駆除	ムカデ対策
7. 24	館内大掃除	ワックス掛けは作業の環境整備の中で行った
9. 14	厨房害虫駆除	ゴキブリ対策
10. 10	衛生管理検討会議	事業所周辺への影響に係る定期点検、感染症予防対策について
12. 10	館内大掃除	

15. 接遇推進

接遇推進会議を年2回開催し、職員1人ひとりが接遇に対しての意識を高め、利用者支援においての質の向上を図るため接遇推進に取り組んだ。会議では職員間で意見交換したうえで、1年間を通して「接遇マナーの基本5原則～挨拶、言葉遣い、表情、傾聴、身だしなみ～」を心掛けましょう」という推進目標を設定し、意識喚起を行った。また、非常勤職員に対しては、担当者から会議の内容等について説明し周知を図るようにした。

1月には利用者を対象に設備、就労支援、支援計画、レクリエーション、職員等についての事業所利用満足度調査を実施し、その結果を自治会にて報告した。

16. 虐待防止

虐待防止責任者、虐待防止担当者を各1名選任し利用者の人権擁護、虐待防止に努めた。

職員個人及び事業所のチェックリストの結果をもとに、虐待防止対策会議を行い、結果と改善策について検討した。

紀南ひかり園と合同で第三者委員、保護者代表に参加していただき、虐待防止委員会を開催し、虐待防止対策会議の結果と今後の取り組みについて報告した。

また、虐待防止・権利擁護にかかる研修会を行い、虐待防止の体制づくりについてを学んだ。

【虐待防止にかかる取り組み】

年月日	項目	内 容
R6. 5. 9	虐待防止チェックリスト	チェックリストのチェックと集計
5. 24	虐待防止対策会議	虐待防止チェックリストの結果確認と、対策案等の検討
11. 9	虐待防止委員会	苦情解決、リスクマネジメント、虐待防止チェックリストの結果報告

17. 身体拘束の適正化

今年度は、身体拘束が必要な事案はなかった。

18. リスクマネジメント

今年度はひやりはっと事例報告、事故報告はなかったためリスクマネジメント委員会を開くことはなかった。

19. 苦情解決事業

今年度、苦情・要望の件数は、0件であった。

20. 日中一時支援事業

在宅障害者の方からの要望により、市町と日中一時支援の契約を締結しているが、今年度の利用はなかった。

21. 実習・研修の受け入れ

特別支援学校から2名の実習の受け入れを行った。

22. ボランティア・慰問の受け入れ

ボランティアを受け入れることはなかった。

23. 防火・防災・防犯対策

防火（防災）管理者を選任し、防火・防災に対する意識の向上と災害時の安全対策に努めた。今年度は訓練を4回と新たに自然災害におけるBCP研修を1回実施した。また、職員においては熊野消防署に依頼し7月に救急法講習〔普通救命Ⅰ〕を実施して緊急時の応急手当の方法に関する勉強会を開いて学んだ。防火・防災対策としてはSECOMと契約し、特に夜間等の防火・防犯対策に努めた。

【防火管理委員会と訓練の状況】

実施日	種 類	内容（想定出火場所、発生時の状態等）	備 考
R6. 4. 23	防火管理委員会	昨年度12月～3月の避難訓練を振り返って令和6年度 年間計画について	紀南ひかり園と合同
7. 3	訓練/水害	近くの河川の氾濫（午前の工作中）	
11. 25	BCP研修	自然災害時におけるBCP研修	
11. 29	防火管理委員会	4月～11月の避難訓練を振り返って今後の取り組みについて	紀南ひかり園と合同
12. 2	訓練/火災	大規模災害（午前の工作中）熊野灘震度6強	消防署立会い
12. 9	訓練/火災	グリーンプラザ厨房（午前の工作中）	非公開
R7 3 26	訓練/火災	紀南ひかり園ペガサス（午前の工作中）	

24. 建物・設備等の整備・維持管理

館内及び南側市借用地を含む敷地内を5つのエリアに区分けし、それぞれのエリア及びエリア内の建物・設備等の担当職員を定め、毎月1回自主点検を実施した。破損箇所等修繕等が必要な場合には速やかに対処し、常に安全で快適な環境整備に努めた。令和6年度に実施した工事等は、以下の通り。

- *普通乗用車1台購入
- *事務用デスクトップPC1台買換え
- *ノートPC1台買換え
- *ワークルーム照明器具3台取替え
- *PHS 電話機6台買換え
- *コンプレッサー1台買換え
- *空気清浄機3台購入
- *女子更衣室自動火災報知機1台交換
- *厨房外の給湯器への給水管水漏れ修理

25. 職員の育成

（1）内部研修

- ①新任研修 本年度は、新任職員はいなかったため実施しなかった。
- ②勉強会 紀南ひかり園と合同で年3回勉強会を実施した。

実施日	内 容	講師・発表者
R6 6. 26	意思決定支援	勉強会担当職員
R6 7. 10	救急法講習会〔普通救命Ⅰ〕	熊野市消防署員
R6 10. 2	虐待勉強会	担当職員(山口・岡本)

③OJT（日常的指導）

具体的な業務を通じて仕事に必要な態度・価値観、知識・情報、技術・技能等を日常的に指導し、業務技術の習得ができるように努めた。また、上級者から下級者に対して必要な指導、助言をそれぞれの立場から行い、円滑な業務遂行に努めた。

④ケース検討

主に朝礼や職員会議の場において、担当者からの処遇困難ケース等の現況報告や相談に対し、今後の処遇方針や対応方法等についてケース検討を行い、日常的な処遇の向上に努めた。

主な検討内容は以下のとおり。

- 利用者対応の変更について
- 利用者間のトラブルについて
- 利用者の拘り行動について
- 利用者対応（家族からの依頼）について
- 利用者の暴力について
- ケース検討会議の内容について など

⑤特別研修

非常勤職員に対し、利用者支援への理解を深めるためにチーム担当者が講師となり、個別支援計画について特別研修を実施した。

⑥内部研修

ハラスメント研修を実施した。

(2) 外部研修

新型コロナウイルス感染予防のため、出来る限り外部へ出かけての研修は避け、以下のとおり研修に参加し、支援技術や資質の向上を図った。

開催月	研修名	主催	人数
R6. 4月	三知協事務・管理職員等研修会	三重県知的障害者福祉協会	1名
R6. 8月	福祉職員キャリアパス対応障害研修課程「中堅職員コース」	三重県福祉協議会	1名
R6. 8月	業務運営規定改正に係る事務取扱説明会(オンライン)	三重県社会福祉事業職員共済会	1名
R6. 9月	第62回東海地区知的障害関係施設長等研究協議会	日本知的障害者福祉協会	1名
R6. 9月	三重県障害者虐待防止・権利擁護研修 (YouTube)	三重県	1名
R6. 11月	第61回東海地区知的障害関係施設職員等研究協議会	日本知的障害者福祉協会東海地区会	1名
R6. 11月	サービス管理責任者更新研修	三重県	1名
R6. 11月	クリーニング師講習会	クリーニング生活衛生同業組合	1名
R7. 1月	就労系サービスにおける意思決定支援について	障がい者就業・生活支援センター結	1名
R7. 2月	退職共済制度実務研修会 (オンライン)	三重県社会福祉事業職員共済会	1名
R7. 2月	三知協虐待防止等研修会	三重県知的障害者福祉協会	1名

26. ハラスメント防止対策

ハラスメントに対する相談があれば迅速に対応し、再発防止に向けた措置を講ずるため、相談窓口（担当者）を設置した。今年度においては相談ケース0件であった。

27. 福利厚生

職員の福利厚生面での処遇を厚くし職員の勤労意欲を高め、その定着が図れるよう努めた。

(1) 独立行政法人福祉医療機構並び、三重県社会福祉事業職員共済会の社会福祉施設職員退職共済制度に対象職員の加入を図った。

(2) ソウエルクラブ（福利厚生センター）に加入し、会員専用の優待情報の提供やサービスが利用できるようにした。

今年度は、入学お祝い品1名、永年勤続記念品1名、の贈呈及び、生活習慣病予防検診等費用

の助成を得た。

(3) 職員の健康診断やインフルエンザ予防接種の助成を行い、職員の健康維持と健康管理を行った。

28. 広報活動（情報公開）

事業所の事業の状況等を広く情報公開し、理解を深めて頂くため、広報誌「ふれ愛」を紀南ひかり園と合同で年2回発行した。また、資産の状況等については、年1回掲載し、透明性の確保と情報公開に努めた。またホームページで事業の状況等を適時広報した。

29. 会議の運営

今年度の会議は、前項までに報告したもののほか以下のとおり実施した。

【事業所独自の会議】

会議の名称	開催状況	内 容
職員会議	13回	連絡調整会の事前打ち合わせ、基本方針や組織、事業運営にかかる事案の検討を常勤職員が参加して実施。
ケース検討会議	11回	利用者の日々の状況や課題について、支援の在り方や具体的な対応方法を協議、検討
個別支援計画策定会議	17回	モニタリングの確認と個別支援計画（案）について、利用者、所長（サビ管）、部長、係長、事務長、担当職員、相談員が参加して検討。
工賃決定会議	3回	「勤務評価と工賃」マニュアルに基づき検討し、利用者一人一人の時間給について、常勤職員が参加して決定。
接遇推進会議	2回	接遇向上のための学習や実践的な取り組み等について、常勤職員が参加して検討。
食事環境等検討会議	2回	厨房および食堂における環境面、設備面等について、常勤職員が参加して検討。
感染症対策会議	3回	感染症等の予防対策や発生時の対応、蔓延防止策について周知と対策の徹底を図るため、常勤職員が参加して実施。
衛生管理検討会議	2回	衛生管理、感染症、予防接種、健康管理等について連絡、調整を図り必要事項について常勤職員が参加して検討。
リスクマネジメント委員会	0回	ひやり・はつとや事故報告の内容確認と今後の対応、他リスクと思われることについて、支援員が参加して検討。
自己評価委員会	1回	みえ福祉サービス第三者評価基準に基づき、事業所の弱点や改善点について全職員でチェックし、常勤職員で検討。
事業計画策定会議	1回	担当者が作成した事業計画（案）をもとに管理者がまとめ、常勤職員が参加して検討、確認。
事業報告策定会議	1回	担当者が作成した事業報告（案）をもとに管理者がまとめ、常勤職員が参加して実施。
人事考課評価委員会	4回	自己申告に基づき面談のうえでの評価委員が人事考課評価を実施。

紀南ひかり園との合同会議】

全体会議	0回	今年度は全体で確認する事項はなかった。
連絡調整会	12回	翌月の行事予定等の確認と各事業所の内容や状況等についての連絡・調整を所長、事務長が参加して実施。
個人情報管理委員会	1回	担当者が集まり今後の個人情報に関する研修の在り方について検討する。
虐待防止委員会	1回	苦情及び虐待に関するアンケート結果と事故報告の改善策について、第三者委員、保護者代表に報告し、意見をいただき、その後改善策の報告を行った。
食事会議	10回	献立の検討、検食結果の確認、反省、希望メニューの確認等について、所長、食事担当職員、利用者代表が参加して実施。
防火管理委員会	2回	消防計画を策定し、改正、その他実施結果の検証や今後の対策等について、所長、防火管理者が参加して検討。

広報編集委員会	5回	広報「ふれ愛」発行のための編集会議、次回の内容について、広報編集委員が参加して構成、記事の確認等を実施。
合同打ち合わせ会等	0回	行事等の打ち合わせを担当職員が参加して実施。

30. 業務管理

職員業務マニュアル・フローシートについては、適時変更箇所の見直しを行い、現状に則した内容に変更し整備した。みえ福祉サービス第三者評価基準に基づき全職員による自己評価を実施し、現状の再確認と改善策の検討を行った。

31. 家庭との連携

日常的には連絡袋での書類等の受け渡しや随時電話等での情報交換を行った。月末に電話または送迎時などに直接1ヶ月の状況報告を行うとともに家庭での様子など伺うようにした。その他個別面談時の意見交換や意向確認、また欠席時や体調等に異変があったときの連絡は適時行い、家庭と緊密な連携を図り情報の共有化に努めた。

32. 保護者会

コロナ感染防止の為、保護者会を開催することは無かった。例年通り、レクリエーション等への助成をいただいた。